

I 教育目標	
○ げんきなこども	基本的な生活習慣や態度を身に付け、進んで体を動かして遊びや生活に取り組むこどもを育てる。
○ やさしいこども	様々な人と関わり、自分も相手も大切に作る心を作る。
◎ たくましいこども	伸び伸びと自己表現し、最後までやり抜こうとするこどもを育てる。

II 経営方針	
目指す幼稚園像	<p>【わくわくがいっぱいの幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の成長を促すために、最適な教育環境を創造し続ける幼稚園 ○ 幼児が夢中になって遊ぶことができる、安心・安全な幼稚園 ○ 地域のコミュニティとして、園に関わる人がつながり、育ち合う幼稚園
目指す幼児像	<p>【わくわく夢中になって遊ぶ幼児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夢中になって遊び、ありのままの自分を存分に表現する幼児 ○ 好奇心、探究心をもち、試行錯誤しながら主体的に行動する幼児 ○ 感謝する気持ちをもち、自分も他者も大切にする幼児
目指す教師像	<p>【幼児とともにわくわくする教師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児理解に努め、幼児にとって最善の環境や指導を工夫する教師 ○ 個や組織として力を発揮し、他者とともに磨き合い高め合える教師 ○ 幼児や保護者の思いに寄り添い、信頼される教師
経営理念	<p>未来を担うこどもたち一人一人が「みんな、かがやく！」ことを目指すとともに、幼児も保護者も教職員も地域の方もみんなが笑顔になり、「みんなが楽しい枝川幼稚園」となることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こども一人一人が幸せになる…「こどもの笑顔」が幼稚園にあふれる <ul style="list-style-type: none"> ・明日も通いたい幼稚園 ・自分を表現できる幼稚園 ・人と人がつながる幼稚園 【そのために】…徹底した幼児理解と保育改善、環境構成の工夫 保護者との連携 ○ 幼稚園が守る…「こどもの命や人権」を守る <ul style="list-style-type: none"> ・こどもを守る ・教職員を守る ・教育、保育を守る ・園舎を守る 【そのために】…教師の人権感覚を磨く、職員間の連携強化、危機管理能力の向上 ○ よりよい幼稚園をつくる…「こどもにとって」が評価規準の元 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園評価による経営改善 ・小さな改善の積み重ね ・現状踏襲の回避 【そのために】…経営参画意識、改善意識の発揮、具体的な姿を想定する ○ 地域とつながる…「多様な関わり」を積み重ねる <ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティの場・地域の親子を支援 ・近隣校園との交流及び学び合い 【そのために】… 他校園との交流・連携、情報発信、地域の方の教育力を活用

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		わくわく夢中になって遊ぶ幼児を育む
中期経営目標	心と体を伸び伸びと動かして遊ぶ幼児を育てる。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立し、自分のことは自分で行おうとする意欲・態度を育む。 ・ 幼児自ら環境に関わり夢中になって遊べる環境を構成する。 ・ 運動や食育を通し、元気な体づくりを意識していく活動を実践する。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	生活習慣見直しシートの活用や、自ら行動していけるよう支援し、家庭と連携を図りながら毎日積み重ねていく指導をする。	手洗い・うがい、身の回りの始末など、自分のことは自分で行おうとする。（100%）
2	幼児が自ら興味を持った環境に関わり、試行錯誤や探求活動を十分に実現できるような魅力的な環境を幼児とともに構成する。	自分から環境に関わり、わくわくした気持ちをもって遊ぶ。（100%）
3	幼児の実態に応じ、幼児が楽しみながら体を動かして遊べる環境を構成し、意欲的に挑戦していく活動を取り入れる。	様々な運動遊びに喜んで参加し、体を動かして遊ぶことを楽しいと感じる。（100%）
4	自然の不思議さや尊さ、食事の意味を知り、命の大切さや健康な体を意識し自ら必要な行動をしていける指導を行う。	身近な自然物や環境に興味を示したり、自分たちで栽培した野菜を食したりすることを通して、命の大切さや健康に気付く。（100%）

重点領域 2		心豊かで、自分も友達も大切にできる幼児を育む
中期経営目標	一人一人のよさを伸ばし、自己肯定感が高まる教育を推進する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありのままの自分を表し、意欲的に遊びや生活を創り出す幼児を育てる。 ・ 直接体験を通して、豊かな感性や思考力の芽生えを育む。 ・ 様々な人との関わりを通して、多様な心情体験を積み重ねられるようにする。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	幼児との信頼関係を築き、安心して伸び伸びと自分を表現できるような保育を展開する。	幼稚園に喜んで通い、安心して伸び伸びと自分を表し園生活を過ごす。（100%）
2	興味関心をもち自ら環境に関わりながら、心を揺り動かし、感じたり考えたりする直接体験を通じた保育を毎日積み重ねる。	様々な環境に興味をもって関わり心を動かす中で、様々なことを感じ、言葉や動き、表情などいろいろな方法で表すことを楽しむ。（100%）
3	話すこと、聞くことが楽しくなる活動や、伝え合う喜びが味わえる機会を、好きな遊びや学級活動の中で1日1回以上実施する。	自分の思ったことや考えたことを相手に伝えようとしたり、教師や友達の話の話を聞こうとしたりする。（100%）
4	様々な人との関わりを通して、人と関わる楽しさや自分の気持ちに折り合いをつけるなど、多様な心情体験をしていけるよう、幼児の心に響く指導方法を工夫する。	いろいろな友達との関わろうとしたり、相手の気持ちを考えようとしたりし、4月よりも友達と遊ぶことを楽しんでいる。（100%）
5	近隣の幼・保育園、小学校、中学校との交流活動や連携教育の日等を活用しながら、互いの教育内容の理解を図るとともに、教員間の連携を充実させる。	同年齢や異年齢交流により、いろいろな人と触れ合う楽しさや親しみをもち、小学校入学への期待、中学生への憧れの気持ちなど、様々な心情を体験する。（100%）

重点領域 3		教師の指導力向上	
中期経営目標	互いに高め合い学び合う姿勢をもち、指導力向上を目指し保育の充実を図る。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児理解を深め、発達の特徴を捉えた指導や環境構成を工夫する。 ・ 幼児がじっくりと遊びに取り組みやすいように一日の組み立てや週ごとの予定を園内で共有し遊びの充実を図る。 ・ 研修の活用、専門家との連携など、指導力向上のための取組を主体的に行う。 		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	幼児一人一人を肯定的に受け止め、よさや個性を認め合える学級経営を行う。	先生や学級の友達と一緒に活動することを楽しむ。（100%）	
2	自分の遊びをじっくり取り組める時間を60～90分確保し、朝の遊び出しの環境を充実させる。	幼稚園で好きな遊びがあり、自分の思いが実現する楽しさを十分に味わっている。（100%）	
3	自己課題を把握し、園内研や区幼研、その他研修などを活用し、創意工夫して保育の改善を図る。	幼稚園はこどもたちに必要な経験ができるよう環境や援助の工夫をしていると感じている保護者が評価アンケートで100%。	
4	スクールカウンセラーや都立特別支援学校の特別支援教育コーディネーター等を招聘し、一人一人に応じた援助の在り方について学び、実践に生かす。	幼稚園は一人一人のこどもを大切に、個の発達に沿った援助をしていると感じている保護者が評価アンケートで100%。	

重点領域 4		開かれた幼稚園づくり	
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や地域との連携を深め、ともにある幼稚園づくりを推進する。 ・ 外部の教育力の活用により教育内容を充実する。 		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者とのコミュニケーションを図り、子育て支援活動を工夫する。 ・ こどもの成長を通して幼稚園の教育内容や成果が保護者や地域に伝わるように、情報の発信を工夫する。 ・ 地域の方と触れ合いながら、多様な経験を重ね興味関心を広げる。 		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	保護者との連携を深め、幼児の成長や課題について共有できるよう、毎日の降園時や園庭開放、月1回の「しゃべり場」等で、悩みや相談を受け止める体制をつくる。	教職員は相談しやすく幼児の成長につながったことへの評価が100%。	
2	未就園児の親子登園、預かり保育を計画的に実施する中で、子育ての大切さについて共有し、こどもの育ちや保護者支援を行う。（100%）	保護者アンケートで、子育て支援に対する肯定的な評価が100%。	
3	園だよりや学級だより（月1回程度発行）、保護者会（年3回）、個人面談、ホームページ（週3回の更新）、保育参観、ドキュメンテーションなどを通して園の教育を発信する。	保護者アンケートで幼稚園教育への理解が深まったことへの評価が100%。	
4	専門知識や経験をもつ地域の方を招聘し、豊かな体験活動を行う。	専門家の力を借り様々な体験活動を通し、興味関心を広げ喜んで活動に取り組む。（100%）	